

統合開発環境High-performance Embedded Workshop ご使用上のお願い

High-performance Embedded Workshopの使用上の注意事項を連絡します。

- エディタウィンドウおよび逆アセンブリウィンドウでアセンブリ言語コードを編集する場合の注意

High-performance Embedded Workshopは、コンパイラやエミュレータデバッガなどのソフトウェア製品にバンドルされています。

1. 該当製品

High-performance Embedded Workshop V.4.00.00 ~ V.4.07.01

2. 対象デバッガ

- M16C R8C E100エミュレータソフトウェア
- R32C E8aエミュレータデバッガ
- M32C E8aエミュレータデバッガ
- M16C E8aエミュレータデバッガ
- R8C E8aエミュレータデバッガ
- 740 E8aエミュレータデバッガ
- R8C/Tiny E8エミュレータデバッガ
- M16C/Tiny, M16C/62P E8エミュレータデバッガ
- M32C/80 E8エミュレータデバッガ

3. 内容

エディタウィンドウまたは逆アセンブリウィンドウの逆アセンブリ表示で編集したい命令をダブルクリックしてアセンブリ言語コードを編集する場合、"#0"のあとに"A"から"F"を記述すると(例参照)、“Undefined symbol exist”エラーが表示されます。

例：MOV.B #0A0H,R0H

例の"MOV.B #0A0H,R0H"をアセンブルすると"Undefined symbol exist"エラーが表示されますが、アセンブルした結果は正しくメモリに書き込まれます。このエラーが発生した場合は、エディタウィンドウまたは逆アセンブリウィンドウのリフレッシュメニューで画面を更新して、アセンブル結果を確認して

ください。

4. 回避策

assembleコマンドでアセンブルしてください。
("Undefined symbol exist"エラーは表示されません)

5. 恒久対策

次期バージョンで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。
ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.